

農場HACCPとJGAPの違いについて

エス・エム・シー株式会社
認証事業コンサル部
高須賀 寛弓

「食」の安全と信頼を科学でサポートする



● ● ● 本日の内容



- ・ エス・エム・シー(株)について
- ・ 畜産の認証制度と認証状況
- ・ JGAPと農場HACCPの違い
- ・ JGAPの運用について

● 本日の内容



- ・ **エス・エム・シー(株)について**
- ・ 畜産の認証制度と認証状況
- ・ JGAPと農場HACCPの違い
- ・ JGAPの運用について

： エス・エム・シー(株)について



会社概要

設立：1985年8月1日

代表取締役：村田 知

SMC(株) (Swine Management Consultation) は、家畜の生産から加工までの流れを一貫して捉え、その全過程での品質管理、質・量双方の向上を科学でサポートし、推進させることを目的とした企業です。

近年においては、農場HACCPやJGAPの教育指導業務、認証審査業務にも力を注ぎ、「食」の安全と信頼に貢献すべく努めています。



エス・エム・シー(株)について



会社概要

『食』の安全と信頼を
科学でサポートする。

それが私たちの使命です。

検査業務

生産農場（主に養
豚場）、畜産物、
加工品までの
プロセス全体を
科学的にサポート

年間検体数：140000検体

認証審査業務

農場HACCP・JGAP
認証の
認証審査業務

農場HACCP認証農場数：102農場
JGAP認証農場数：196農場
個別認証143経営体、団体認証8団体（53農場）

※2026年1月6日時点

教育指導業務

農場HACCP・JGAP
認証取得の
推進、指導業務

農場HACCP構築指導：25件
JGAP構築指導：12件
（団体・個別）



● 本日の内容



- ・ エス・エム・シー(株)について
- ・ **畜産の認証制度と認証状況**
- ・ JGAPと農場HACCPの違い
- ・ JGAPの運用について



家畜、畜産物を対象とした認証制度

1. 農場HACCP認証

2011年より農場を対象とした認証審査開始。

※大阪万博より「持続可能性配慮の農場HACCP認証農場指定」を開始

2. JGAP認証

2017年より家畜・畜産物の認証開始。（2007年より茶、穀物、青果物）
2020年東京オリンピック以降国際博覧会の食材調達基準となっている。

（SQF認証 一次動物生産※畜産農場対象）

プロセスおよび製品認証基準

HACCPをベースとした食品安全および品質管理システムの規格

● 国内の認証制度について



家畜、畜産物の認証機関

農場HACCP、JGAP認証機関

- ・ 中央畜産会
- ・ SMC

JGAP認証機関

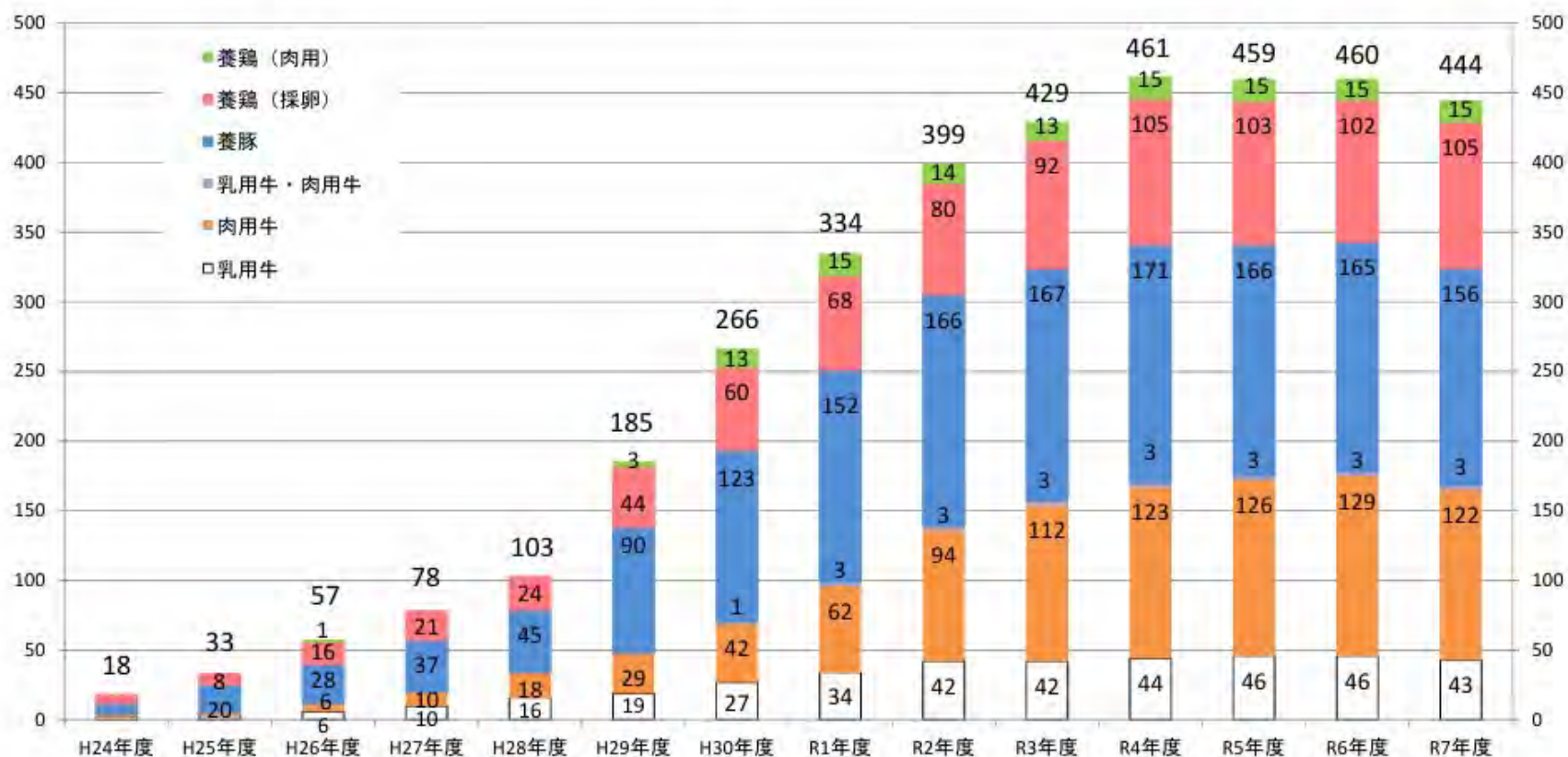
- ・ 鹿児島大学

HACCP認証農場数推移



農場HACCP認証取得農場数の推移

(令和7年10月30日時点)



JGAP認証農場数推移



JGAP畜産認証取得農場

令和7年3月31日現在

乳用牛 : 60農場
肉用牛 : 78農場
豚 : 59農場
採卵鶏 : 55農場
肉用鶏 : 17農場
計 : 269農場

<乳用牛>

・団体認証取得農場: 2団体

北海道	株式会社Kalm角山
	アットファーム株式会社
	株式会社学林ファーム(肉用牛を含む)
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
	北海道農業研究センター(肉用牛を含む)
	株式会社K I(肉用牛を含む)
	北海道中標津農業高等学校
	株式会社ナガホロ(肉用牛を含む)
	有限会社石川ファーム ◎
	株式会社柏葉ファーム ◎
	有限会社田口畜産
	村上牧場
	株式会社鶴久名牧場
	及川牧場
	株式会社SEA-LAKE(肉用牛を含む)
	株式会社E・H・F ◎
	有限会社ジェイファームシマザキ □
	有限会社ヤグチツチ □
	大山牧場 □
	ノーサンファーム株式会社
	株式会社中條牧場ノースウッドファーム(肉用牛を含む)
	株式会社RARA Farm 中標津(肉用牛を含む)
	有限会社バインランドデリー
	株式会社びえい牧場
	穴吹牧場
	株式会社INFINE
	武藤牧場 □
	新井牧場 □
	有限会社鹿毛牧場 □
	柏木牧場 □
	有限会社藤井牧場
	株式会社まろにえふあーむ
	地方独立行政法人北海道立総合研究機構酪農試験場
	株式会社カズワフファーム(肉用牛を含む)
	今井牧場
	北海道岩見沢農業高等学校(肉用牛を含む)
	北海道静内農業高等学校
	穴吹牧場 □
	株式会社伊藤デリー(肉用牛を含む)
	目黒牧場
	株式会社TACSLべちゃ



北海道	福田牧場 □
	天野牧場 □
	株式会社GOOD FARM □
	株式会社A-raise Farm □
	株式会社OSAKA FARMS □
	有限会社鶴木牧場 □
	有限会社MFデリー □
	武隈牧場 □
	北海道更別農業高等学校
	独立行政法人家畜改良センター岩手牧場
岩手県	岩手県立農業大学校(肉用牛を含む)
山形県	はまだ牧場
福島県	ファームつばさ(肉用牛を含む)
福島県	福島県立岩瀬農業高等学校(肉用牛・採卵鶏を含む)
	国立大学法人宇都宮大学農学部附属農場(肉用牛を含む)
栃木県	有限会社瑞穂農場那須支店(肉用牛を含む)
神奈川県	株式会社石田牧場
石川県	株式会社ホリ牧場
鳥取県	鳥取県立農業大学校(肉用牛を含む)
宮崎県	株式会社松浦牧場

◎団体名 津別町有機酪農研究会
□団体名 ちえのわ事業協同組合

* 農場によっては複数の畜種で認証取得しているが、代表的な畜種でカウント

農産物を科学でサポートする



● ● ● 本日の内容



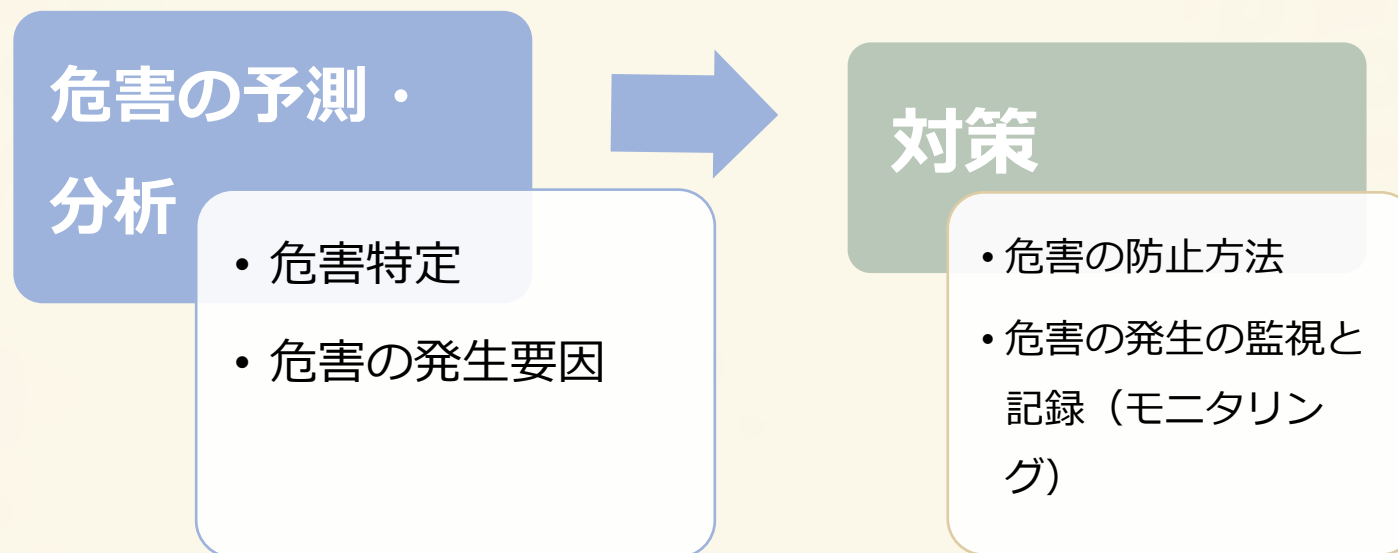
- ・ エス・エム・シー(株)について
- ・ 畜産の認証制度と認証状況
- ・ **JGAPと農場HACCPの違い**
- ・ JGAPの運用について



HACCP = 危害分析 (HA) および必須管理点 (CCP)

「**H**azard (危害)」「**A**nalysis (分析)」

「**C**ritical (必須)」「**C**ontrol (管理)」「**P**oint (点)」

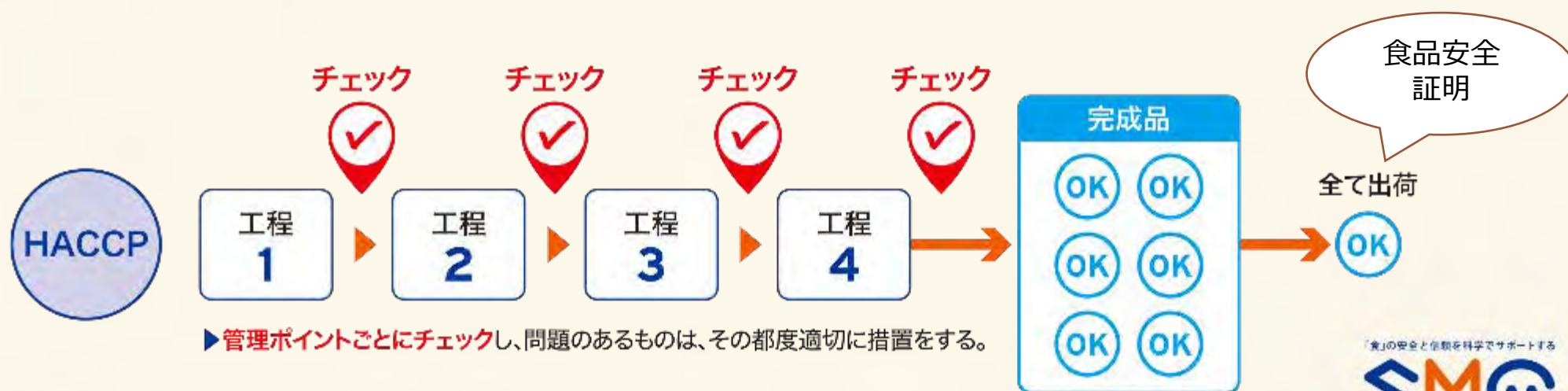


危害分析の結果、リスクが高いと判断した工程は
CCPとして重点的に管理する

⋮ HACCPとは



HACCPによる衛生管理方法



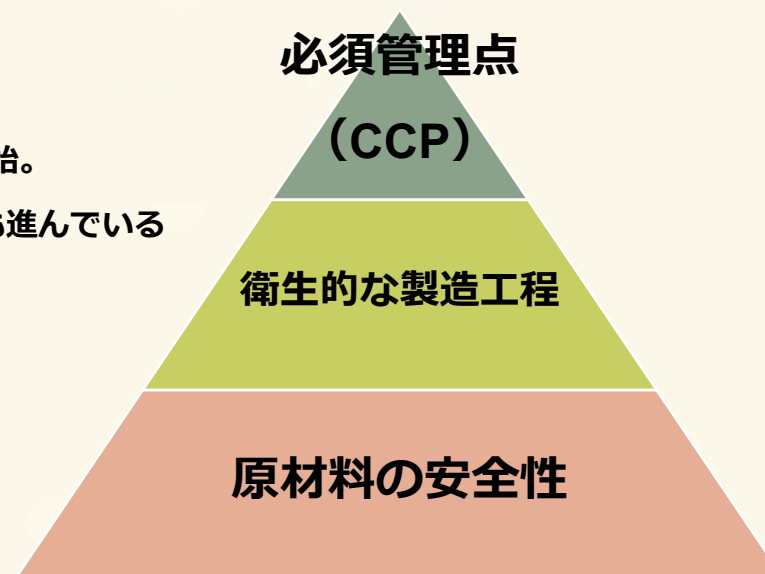
農場HACCPとは



農場でもHACCP

2011年より農場を対象とした認証審査開始。

2014年以降と畜場でのHACCP導入も進んでいる



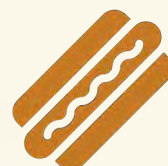
各工程にてそれぞれ考えられる危害を抽出し、それに対する対策をおこなうことで、より安全性の高い食品を製造することができる。



農場



と畜場



加工場



流通



食卓へ

農場HACCPとは



飼養衛生管理向上のための認証

PDCAサイクル

Plan(計画)

第2章 経営者の責任

衛生管理方針・衛生目標の設定、HACCPチームの役割分担・権限、外部及び内部コミュニケーション、特定事項の備え等

第3章 危害要因分析の準備

原材料・資材、家畜・畜産物の特性、フローダイアグラムの作成、現状作業の明確化等

第4章 一般的衛生管理プログラムの確立、 危害要因分析、HACCP計画の作成

第5章 教育・訓練プログラム

第7章 衛生管理文書リスト、文書・記録管理

Act(改善・実行)

第2章 衛生管理システムの見直し

第6章 評価、改善、衛生管理システムの更新

法令遵守

- ・家畜伝染病予防法
- ・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令
- ・動物用医薬品の使用の規則に関する省令
- ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用促進に関する法律施行規則
- ・食品衛生法 など

Do(実施)

●日常作業等の確認・記録

第5章 教育・訓練プログラム

第7章 文書化・記録付け

Check(検証)

第4章 HACCP計画の検証

第6章 内部検証、情報の分析

農場HACCP認証審査においては、
衛生管理システムの構築状況と
継続的改善システムの運用状況を見る。

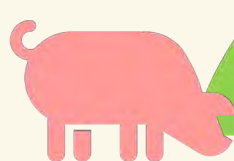
適合性
審査

有効性
審査



JGAP = 日本の良い (JG) 農業の実践 (AP)

「Japan (日本)」 「Good (よい)」
「Agricultural Practice (農業の実践)」



農林水産省では、「農業生産工程管理」としている。



農業の持続性に向けた7つの取組

環境保全の確保

地球温暖化対策、生物多様性や周辺環境への配慮、地域社会との共生などに取り組んでいます。

食品安全の確保

生産工程を明確にし、食品安全の観点からリスク評価・対策に取り組んでいます。

作業者の安全確保

作業者の労働安全対策や労働事故の防止などに取り組んでいます。

信頼される農場管理

責任体制の見える化、機械・設備の点検・整備のルール化などに取り組んでいます。

作業者の人権福祉

労働基準法等の法令の遵守、差別の禁止、作業者の健康管理などに取り組んでいます。

家畜衛生の確保

家畜伝染病の発生予防や動物用医薬品の適切な使用・管理、飼料の安全確保などに取り組んでいます。

アニマルウェルフェアへの配慮

パリに本部を置く国際獣疫事務局(OIE)が定めた国際基準に基づき、快適性に配慮した飼養環境の改善に取り組んでいます。

7つの取り組みを行うことで、農業の持続を図る。

すべての農場が今後考えていかなければならない内容が含まれている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「食」の安全と信頼を科学でサポートする



⋮ JGAPとSDGs



<p>信頼される 農場管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農場管理手順の見える化 責任体制の見える化 機械・設備・車両などの点検・整備のルール化 	
<p>食品安全の 確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生産工程の整理 食品安全におけるリスク評価とその対策・検証 食品防御や食品偽装の防止 土・水・肥料・農薬・動物用医薬品など資源の管理 	
<p>環境保全の 確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化への対策 生物多様性や周辺環境への配慮 廃棄物の管理や資源の有効利用 地域社会との共生 	

「食」の安全と信頼を科学でサポートする



⋮ JGAPとSDGs



	<ul style="list-style-type: none"> 作業者の労働安全対策 労働事故の防止 労働災害に対する備え 	
	<ul style="list-style-type: none"> 労働基準法などの法令遵守 使用者と作業者とのコミュニケーション 差別・強制労働などの禁止 作業者の健康状態の管理 手洗い・トイレ設備の衛生管理 	
	<ul style="list-style-type: none"> 管理獣医師等の健康管理指導 家畜伝染病予防法（飼養衛生管理基準）の遵守 	
	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の快適性に配慮した飼養環境の改善 アニマルウェルフェアに配慮した家畜の輸送 	

⋮ JGAPと農場HACCPの違い



農場HACCPの認証内容

農場が下記の事項について
基準(Codexの7原則・12手
順)を満たしていることを認証
(緑枠内)



HACCP計画の策定 必須管理点(CCP)の 設定

危害要因分析(HA)の 実施

食品安全、家畜衛生
(一般的衛生管理プログラム)

関係法令・規則等

家畜伝染病予防法(飼養衛生
管理基準)、食品衛生法等

農
場
管
理

環
境
保
全

労
働
安
全

人
権
の
尊
重

ア
ニ
マ
ル
ウ
ェ
ル
フ
ェ
ア

JGAPの認証内容

農場が左記の事項
について基準を満たして
いることを認証(赤枠
内)

農場HACCP

畜産物の安全確保を図るために生産農場にHACCPの考え方を
取り入れたマネジメントシステム。
農場が危害要因や必須管理点を設定すること等によって、生産
段階における危害要因をコントロールする飼養衛生管理の手法

JGAP畜産

農場管理、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、人権の
尊重及びアニマルウェルフェアの視点から適切な生産管理のあ
り方を定めたもの。

黄色地部分は、農場HACCPとJGAPの共通事項

● JGAPと農場HACCPの違い



農場HACCP

システム認証

- 飼養衛生管理向上の取り組み認証基準
- PDCAによる改善システムにより、農場内の改善につながるシステム
- CCP管理
- システムが有効に機能しているかも審査対象のため、改善に至るプロセスや話し合いの内容等の記録が必要
- 認証範囲は1農場単位

JGAP

製品認証

- 適合基準に適合した農場で生産された製品（品目）を認証
- 製品に認証マークを貼り付けることができる
- 家畜衛生および食品の安全性だけでなく、労働安全や環境保全、アニマルウェルフェアなども範囲となっている
- 認証範囲は1経営体であり、団体認証制度もある



認証は農場運営のツールのひとつ

どの認証制度がすぐれているかなど比較することはできない。

自農場をどのように管理していきたいか、また将来的なビジョンにどの認証制度を利用することができるかを考え、検討する。

● ● ● 本日の内容



- ・ エス・エム・シー(株)について
- ・ 畜産の認証制度と認証状況
- ・ JGAPと農場HACCPの違い
- ・ **JGAPの運用について**



農業の持続性に向けた7つの取組



環境保全の確保について



【廃棄物管理】

- ・ 廃棄物について法令および行政の指導に即した処理方法の文書化と保管、削減の努力（管理点12.1）
- ・ 農場内の整理整頓（管理点12.2）

【エネルギー利用状況】

- ・ 火災・爆発の発生、流出による環境汚染を防ぐために燃料・オイル類の保管、給油への対策（管理点11.1）
- ・ 温室効果ガス削減対策のために使用エネルギーの把握と省エネルギー計画の文書化（管理点11.2）

【周囲の環境保全】

- ・ 騒音、虫害対策等
- ・ 動植物の保全活動への参加（活動があれば）



【労働安全管理】

- ・ 労働事故を防ぐため、年1回以上の労働安全に関するリスク評価の実施（管理点9.2）
- ・ 事故発生時の対応手順の文書化と労働災害への加入（管理点9.4、9.6）
- ・ 設備・機械の使用前点検（管理点9.5）

【設備・機械等の管理】

- ・ 設備・機械および車両リストの文書化と点検および記録（管理点10.1）
- ・ 洗浄剤・消毒剤、毒物・劇物の管理（管理点10.2、10.3）

： アニマルウェルフェアについて



【家畜の飼養管理】

・最新の指針を理解し、これに基づく対応、チェックリストを用いた年1回以上の確認と記録。問題があった項目については、改善計画および改善に向けた取り組みおよびその結果の記録（管理点L1.4、L1.5、L1.6）

第1 管理方法 1 観察・記録

チェック項目	はい	いいえ
① 1日1回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないか確認していますか（例：飼料、水、換気、照明、敷料、体調、採食の状態、損傷や尾かじりの発生状況、行動等）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 飼養管理に関する記録（日誌や報告書等）を毎日つけていますか（例：豚の健康状態、疾病及び事故の発生の有無並びにその原因、繁殖成績、温度等）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

適正でない場合は対策を検討、記録



【労務管理】

- ・ 労働者名簿の整備と労働条件の文書通知（管理点3.2、3.3）
- ・ 労働条件の法令遵守（管理点3.4）

※在留許可の確認（母国語での労働条件通知）

【人権の尊重】

- ・ 強制労働の禁止、差別の禁止（管理点3.5、3.6）
- ・ 年に1回以上労働条件、労働環境、労働安全等について使用者との意見交換の実施と記録（管理点3.7）

⋮ JGAPは決して難しい内容ではない



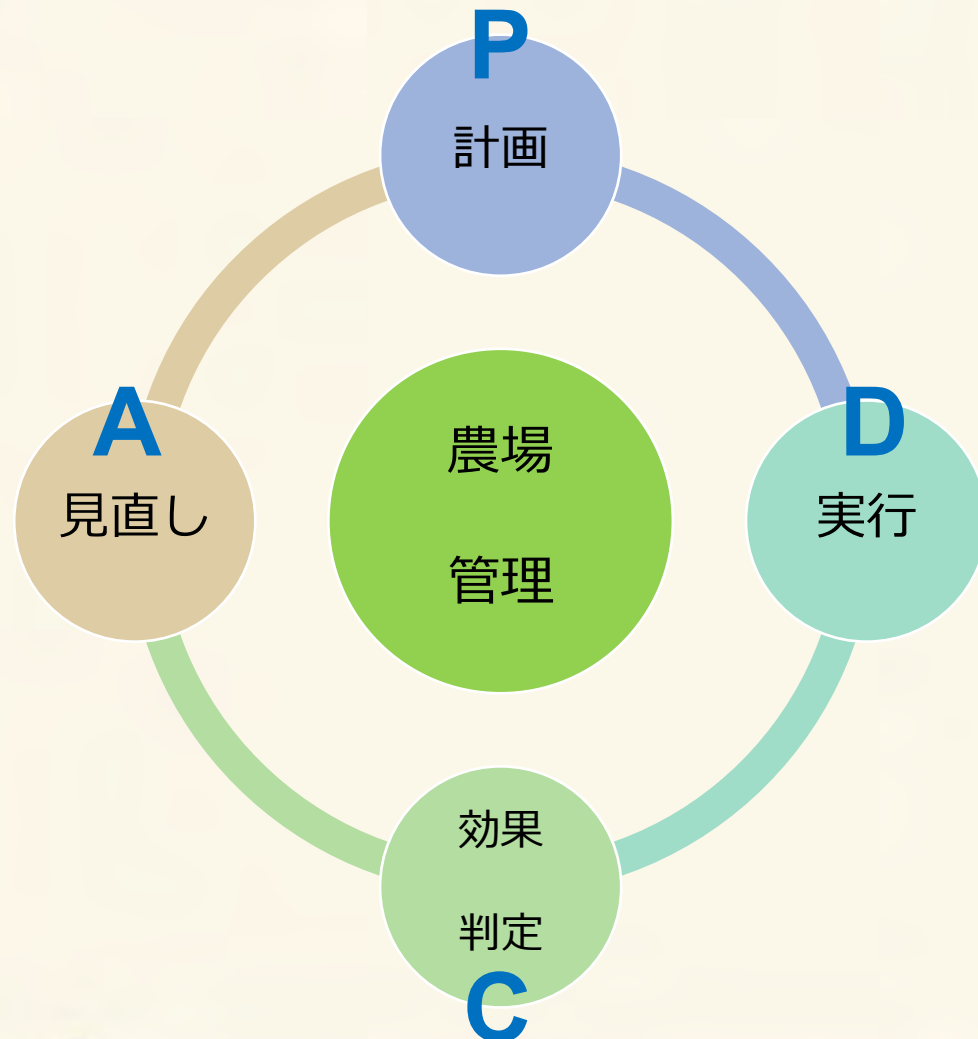
JGAP認証基準



農場の見える化をおこなう



PDCAサイクルにて運用する



手順を実行したあとは必ず効果確認（検証）をおこない運用する。

手順がうまく機能していない場合は手順を見直し、修正していく。

※原因は「人」ではなく、手順やシステムであることを意識し、見直すことが重要。
※「誰か」がやるのではなく、全員で取り組む意識が大切。



**認証基準にかかれています内容だけを行うことだけが
「認証」ではありません**

**認証農場では、認証基準を活用し、
よりよい農場運営を目指し運用しています。**

ご清聴ありがとうございました。

「食」の安全と信頼を科学でサポートする

